



第22号

発行日 平成30年12月18日
発行 関屋小学校区コミュニティ協議会
編集 同広報部会
協力 新潟市立関屋中学校
同校地域教育コーディネーター
新潟市関屋地区公民館

せきやの灯

ここに—このん



どこへ転がるのやら！みんなで心配そうに見守るなかでの「大玉ころがし」

参加した保護者の方から「親も子も地域の人も一緒に楽しんで楽しめるイベントでとてもいいことです。今日、参加したことで地域の人のたちとの交流の輪を拡げることができ、来年もぜひ参加したい」というコメントをいただきました。私たち育成協も「なかよし運動会」を通して、地域の絆

参加者からの嬉しいコメント

普段は子どもたちの運動会に応援に勤しむ大人たちも、この日ばかりは一つ一つの競技に真剣な面持ちで出場しておりました。

「パン食い競争」。これから小学校に入学するかわいい「幼児レース」の子どもたち。余りの白熱ぶりで転倒する大人の姿が見られた「みんなでリレー」等々。

「玉入れ」では、赤・白の玉のカウントに一喜一憂。「豆ひろい」ではなかなか答でつかめない豆で「苦労。口でくわえることが難し

地域の絆を深める

子どもと大人が一緒に なって競い合う

9月30日(日)、関屋小学校区の幼児、児童、地域の皆さんによる「第37回なかよし運動会」が関屋小学校の体育館で行われました。

台風24号の接近による悪天候が心配されるなか、午前8時30分の受付開始から続々と参加者が集まり、午前9時、米山健一会長の開会のあいさつの後、全7種目の競技が始まり、総勢83人で楽しく半日を過ごすことができました。

「なかよし運動会」

関屋小学校青少年育成協議会 副部長 会田 美帆



転ばないで！子どもたちに負けじと必死に走るお母さん

第37回記念なかよし運動会

プログラム

- 1 玉入れ
- 2 輪投げ・豆ひろい
- 3 パン食い競争
- 4 大人障害物競走
- 5 幼児レース
- 6 大玉ころがし
- 7 みんなでリレー

最後にこの「なかよし運動会」に協賛、協力、参加していただきました地元企業、関屋小の先生方をはじめ地域の方々、保護者の皆さんに感謝いたします。

地域の皆さんに支えられて

を深めることができますよう願っています。



祝 関屋小学校 創立140周年



「旧校舎」昭和2年当時の校舎。整備が整い、正面階段が完成。



「人文字写真撮影」児童・職員その他、地域と保護者の方々約240人で、グラウンドに「関屋小」の人文字を作って撮影。(H30.8.29)



「記念グラウンドペイント作業」児童・職員・保護者・地域の方々約250人で、「桜の土台」のペンキ塗り。(H30.5.19)



「記念運動会」晴天の中、聖火点灯や140周年にちなんだ種目 関屋ワールドカップ等を行う。(H30.5.26)



「記念ひびきの集い」全校児童による音楽劇「ユタと不思議な仲間たち」に観客から盛大な拍手。(H30.11.11)



「記念式典」多数の来賓を迎えて厳粛な雰囲気の中で創立140周年記念式典を行う。(H30.11.11)



「記念アトラクション」児童の発表、新潟中央高校ダンス部の演舞、関屋中学校の合唱部・吹奏楽部による合唱・演奏があり、最後に参加者全員で唱歌「ふるさと」を歌う。(H30.11.11)



「記念祝賀会」地域住民・保護者・関屋小の旧職員・職員の総勢86人の参加で関屋小学校でつながる絆が確かめられた。(H30.11.11/じよいあす新潟会館)



忘れかけていたことを思い出す

今も変わらぬ学校の石垣

Q 当時はどんな建物でしたか。
A 学校の石垣は昔から変わっていません。新潟地震のとき少し傷んだようです。今のプールや体育館はなかったです。

Q 小学生のとき、得意だった科目は何ですか。
A 社会、特に歴史が好きでした。歴史の本が好きで、夏休みや冬休みは、本を読んでいた。「関ヶ原の戦い」についての本は、とても面白かったです。

Q 歴史の本が好きな理由は何ですか。
A 歴史の本が好きな理由は、夏休みや冬休みは、本を読んでいた。「関ヶ原の戦い」についての本は、とても面白かったです。

こんにちは



Q 関屋小学校で印象に残っていることは何ですか。
A 校門に入る場所の石垣がずつと変わっていないこと。それと学校の周りに八百屋、魚屋、パン屋、お肉屋さん、お店が並んでいました。

Q 戦時下に疎開生活を体験したことはありますか。
A 疎開生活を3ヶ月間ほど体験しました。それとは違って運動会をしていました。また、給食に脱脂粉乳というミルクがありました。

まだプールがなく関屋浜で遊泳

Q 関屋小学校で印象に残っていることは何ですか。
A 校門に入る場所の石垣がずつと変わっていないこと。それと学校の周りに八百屋、魚屋、パン屋、お肉屋さん、お店が並んでいました。

戦時下に疎開生活を体験したことはありますか。
A 疎開生活を3ヶ月間ほど体験しました。それとは違って運動会をしていました。また、給食に脱脂粉乳というミルクがありました。



母親のようにやさしく話をする吉田利栄子さん (関屋小昭和27年卒) 関屋小ふれあいスクールスタッフ (関屋下川原町1丁目関屋ハイツ)

Q 関屋浜はともかく熱くて課外活動や部活について教えてください。
A プールがまだなく、町内ごとにまとまり、関屋浜へ海水浴に行きました。砂浜がひろく、熱かったです。思い出されます。

不思議そうに半世紀前の小学校の話を聞く2人

Q 好きな科目、得意だった科目は何ですか。
A 家庭科が得意でした。縫い物です。

Q その他、今の中学生に伝えたいことは？
A 今は、インターネットでなんでも簡単に知ることが出来る時代ですが、それだけに頼らず自分の目・耳で体験することも大切です。

ゲタ履きで登校、木造校舎内でははだし

Q 当時は全校で900人の大規模校模校
A 当時は約900人位いました。1学年150人くらいでした。今の約5倍の人数がいたことになります。

Q 新潟地震に強い衝撃を受けたことはありますか。
A 4年生の頃にあった新潟地震です。新潟地震で運動会ができなかったのが印象的でした。また、体育館でラーメンやパンなどの昼食を買って食べるパザールのようなものをやったことも印象的です。

Q 日ごろどんな遊びをしていましたか。
A 男の子は缶けりをして遊んでいました。女の子はゴム跳びをしていました。高学年の男の子はみんな野球をしていました。

Q インタビューを終えての一言
A 今ではできないような体験や、当時の関小の様子を聞かせていただき、貴重な経験となりました。

Q 当時と今の違いを感じることはありますか。
A 通学はゲタでした。グラウンドや校舎の中は、はだしてました。6年生のときに鉄筋校舎ができて、それから内ばきと外ばきができました。ちなみに今でもゲタを履くことがあります。

Q 当時の中学生に伝えたいことはありますか。
A 大きな空、大きな水、(海、川、)

Q インタビューを終えての一言
A 今ではできないような体験や、当時の関小の様子を聞かせていただき、貴重な経験となりました。



童心に戻り、身振り手振りで話をする関川明伸さん (関屋小昭和42年卒) 地域ボランティアグループ関屋田町青年部メンバー (関屋田町2丁目5区)



楽しそうに話を聞くインタビューの2人

Q インタビューを終えての一言
A 今ではできないような体験や、当時の関小の様子を聞かせていただき、貴重な経験となりました。

Q インタビューを終えての一言
A 今ではできないような体験や、当時の関小の様子を聞かせていただき、貴重な経験となりました。

Q インタビューを終えての一言
A 今ではできないような体験や、当時の関小の様子を聞かせていただき、貴重な経験となりました。